

2023年国際数学オリンピック@千葉

世界約100カ国から代表生徒が来日し、
2日間それぞれ3問を4時間半ずつかけて
記述式の6問に挑みます!



【大会概要】

名称	第64回国際数学オリンピック(IMO 2023)日本大会
日程	2023年7月2日(日)~13日(木)
開催場所	千葉県千葉市・幕張メッセ
出場参加国地域数	約100カ国・地域
参加生徒数	約600名
日本大会実行委員会 委員長	藤田岳彦・公益財団法人数学オリンピック財団 理事長、中央大学教授
日本大会組織委員会 委員長	倉重光雄・ジブラルタ生命保険株式会社 取締役会長

主催者からのメッセージ



数学の醍醐味は、頭の中の思索だけで人類未踏の真理を手に行けることだ。無限も永遠も、また目に見えないものさえも掌握できることだ。それは人類が知覚しうる極上の感動と究極の美だ。

秋山 仁 先生 | 第64回国際数学オリンピック(IMO 2023)日本大会組織委員会 副委員長
東京理科大学栄誉教授

先輩から 国際科学オリンピックオンラインイベントより

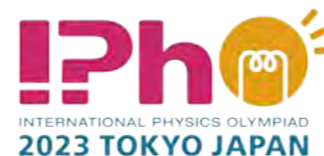
近藤 宏樹 氏 | 第41、42回国際数学オリンピック銅メダリスト、第43回大会銀メダリスト、
武蔵野大学附属千代田高等学院教諭、数学オリンピック財団理事、
第64回国際数学オリンピック(IMO 2023)日本大会実行委員会委員

高校1年から3年までの3年間、日本代表として国際数学オリンピックに参加しました。
国際大会の競技は2日間にわたって行われますが、出題は日本語で、解答も日本語で行います。また、期間中は観光や国際交流の日も設けられています。英語は苦手でしたが、他国の選手と好きな数学の話をしたり、一緒にサッカーをしたりして楽しく過ごすことができました。数学のアイデアなどは国や言語が違ってても各国共通で共有できること、そして数学好きがこんなにもたくさん世界から集まってきているのだということに非常に感動しました。



2023年国際物理オリンピック@東京

4年ぶりの実地開催。
世界から代表生徒が来日して実験問題と理論問題に
それぞれ5時間かけて挑戦します!



【大会概要】

名称	国際物理オリンピック 2023日本大会(第53回大会)
日程	2023年7月10日(月)~17日(月・祝)
開催場所	東京都渋谷区・国立オリンピック記念青少年総合センター
出場参加国地域数	約90カ国・地域
参加生徒数	約450名

主催者からのメッセージ



日本大会の開催は、科学技術先進国である我が国の国際的な責任を果たすものであるとともに、次世代の科学技術人材の育成において大きな意義をもつイベントとなります。我が国の将来の科学技術を担うべき優秀な高校生たちにとっては、オリンピック参加が強いモチベーションとなるとともに、世界の同世代の優秀な若者との交流で大きな刺激を受けると確信しています。

小林 誠 先生 | 国際物理オリンピック 2023組織委員会 委員長
一般社団法人国際物理オリンピック 2023協会 会長
2008年ノーベル物理学賞受賞、高エネルギー加速器研究機構特別栄誉教授

先輩から 国際科学オリンピックオンラインイベントより

渡邊 明大 氏 | 第46、47、48回国際物理オリンピック金メダリスト、
東京大学大学院1年生、
カブリ数物連携宇宙研究機構構成員

私が選手時代に特に意識していたのは、分からない問題があっても試験中はとにかく手を止めないことです。初めて参加したインド大会で東南アジアの選手と相部屋になり戸惑ったものの、競技の出題予想について盛り上がったことや、日本のアニメのキャラクターぬいぐるみを持って行ったところ、各国の代表団から「一緒に写真を撮ろう」と声をかけられたことなどが印象に残っています。高校生のときに世界の意欲ある同世代の仲間と出会えたことは、その後「大学進学後も頑張るぞ!」というモチベーションにもなりました。

